

2023年3月期（第39期） 通期 決算補足資料



2023年5月9日

テクマトリックス株式会社（コード：3762）



- ◆ 2021年3月期の有価証券報告書より、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。
- ◆ 本資料に記載される業績等については、原則すべてIFRSベースで記載をしております。
ただし、2019年3月期（第36期）以前の業績等について記載がある部分については、
それらは日本基準で記載をしております。



1. 通期 業績報告



- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも**過去最高**を記録。

(百万円)

	FY2021	FY2022	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	36,513	45,950	+9,436	+25.8%
営業利益 (営業利益率)	3,734 (10.2%)	5,098 (11.1%)	+1,363	+36.5% (+0.9P)
税引前利益	3,718	5,066	+1,348	+36.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,371	2,950	+579	+24.4%



2023年3月期 累計 連結業績 (セグメント別)

(百万円)

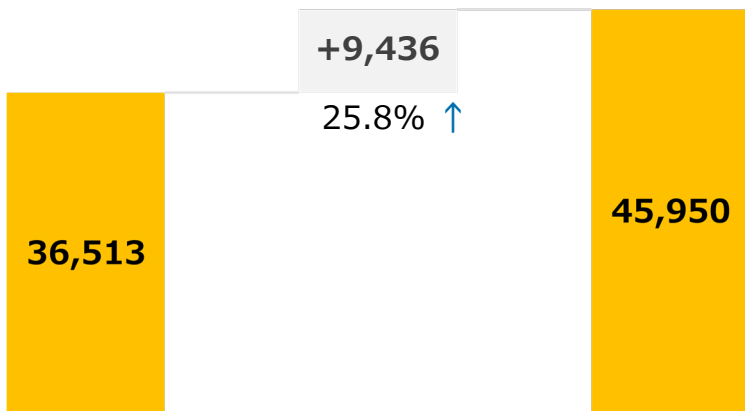
	FY2021			FY2022			前年同期比	
	実績	構成比	利益率	実績	構成比	利益率	増減額	増減率
売上収益	36,513	100.0%		45,950	100.0%		+9,436	+25.8%
情報基盤	24,711	67.7%		29,305	63.8%		+4,594	+18.6%
アプリ・サ	7,242	19.8%		7,300	15.9%		+58	+0.8%
医療システム	4,560	12.5%		9,344	20.3%		+4,784	+104.9%
営業利益	3,734	100.0%	10.2%	5,098	100.0%	11.1%	+1,363	+36.5%
情報基盤	3,054	85.9%	11.8%	3,125	61.3%	10.7%	+70	+2.3%
アプリ・サ	△48	△2.0%	△1.0%	△20	△0.4%	△0.3%	+27	+56.8%
医療システム	728	16.1%	17.0%	1,993	39.1%	21.3%	+1,265	+173.8%

※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含まず。
 ※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。
 ※医療システム事業のFY2021は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値に、2~3月の旧PSPの実績を加算。
 FY2022は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



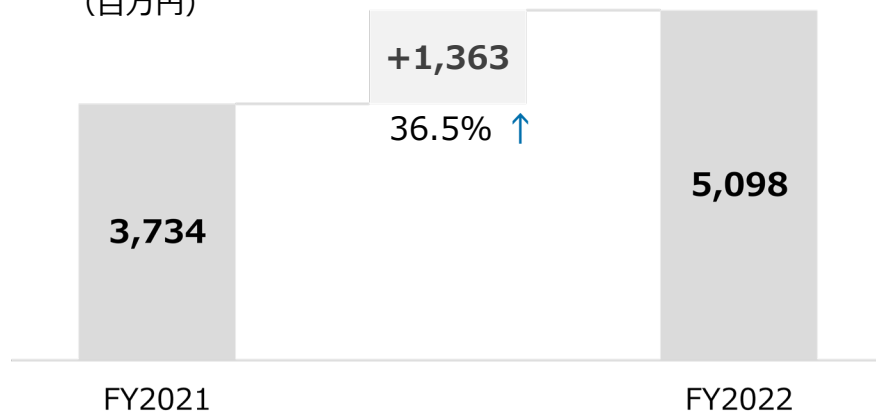
売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



・ 共通 :

オフィス移転費用等の計上が営業利益に影響 (▲3億39百万円)

・ 情報基盤事業 :

クラウド型のセキュリティ対策製品の需要が引き続き拡大。

・ アプリケーション・サービス事業 :

- CRM, SE分野は、受注が好調だがサブスクリプション化が進展し
売上収益・営業利益の計上が繰延傾向。

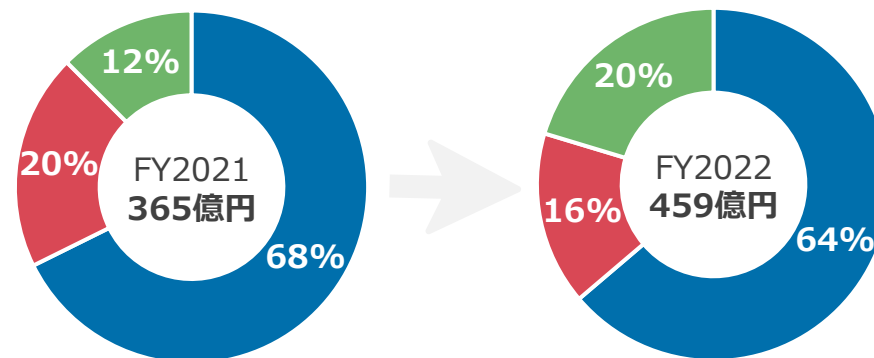
- 教育分野は、4月の一斉納品に向けて、増員。

・ 医療システム事業 :

事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。
クラウドシフトはこれから。

※事業部名略称 ソフトウェア品質保証 : SE

売上収益構成比



■ 情報基盤 ■ アプリ・サ ■ 医療 ■ 情報基盤 ■ アプリ・サ ■ 医療

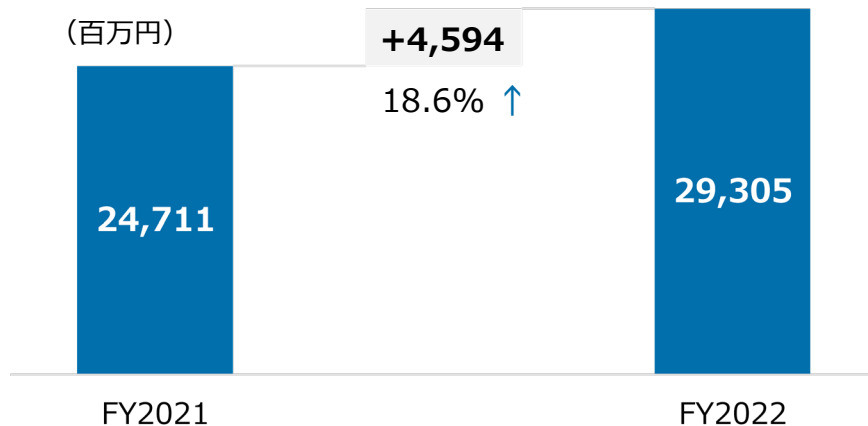
※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含まず。

※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

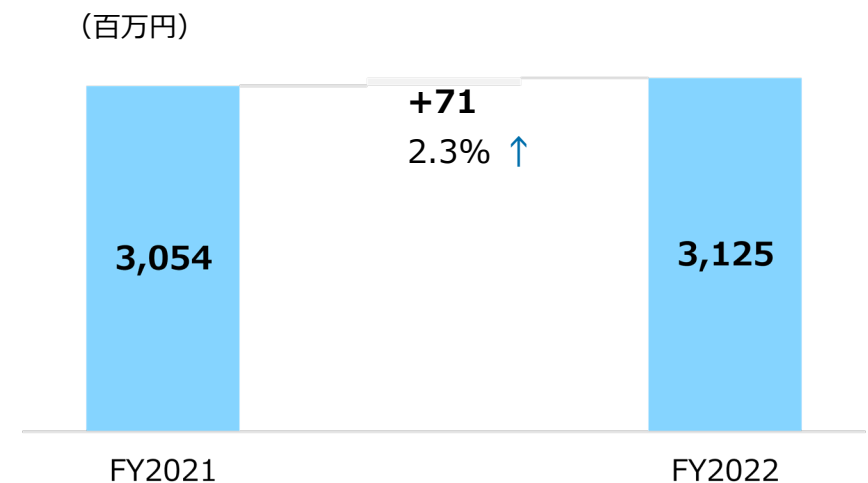
※医療システム事業のFY2021は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値に、2~3月の旧PSPの実績を加算。FY2022は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



売上収益



営業利益



売上収益・営業利益は**過去最高**を記録。

- **売上収益**

- (+) サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の引合いが引き続き好調。
- (-) サブスクリプション化の進展により繰延傾向。
- (-) 半導体不足による納期遅延による影響。

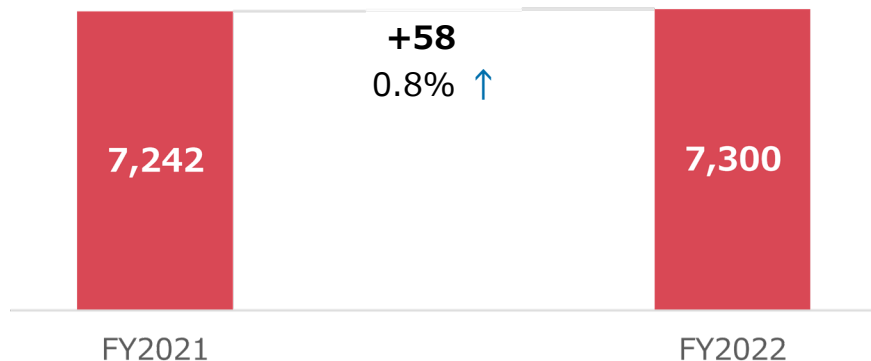
- **営業利益**

- (+) 採算性を意識した営業活動の徹底。
- (-) 円安による影響、人件費・販管費の拡大。
- (-) 案件の大型化による採算性の低下。
- (-) 新規事業としてのクラウドネイティブ活用ソリューションへの投資。



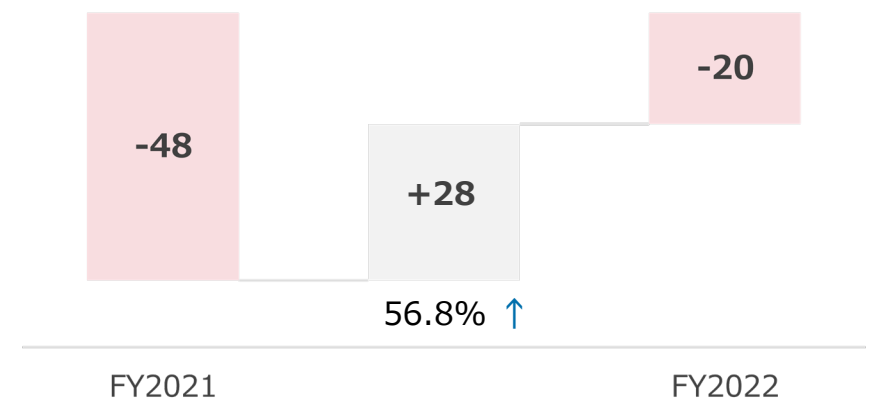
売上収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



売上収益・営業利益は前年比で増加。

売上収益

- (+) 企業向けシステムや組込ソフトウェアの品質を担保するテストツールの需要が好調。(SE)
- (+) 「ツムギノ (tsumugino)」の導入校数が拡大し売上伸長。(教育)
- (-) サブスクリプション化の進展により繰延傾向。(CRM、SE)
- (-) 受注時期の遅れにより前年比で減少も下期から復調傾向。(CRM、BS)

営業利益

- (+) 広告宣伝費の削減 (CRM)
- (-) 教育分野は、4月の一斉納品に向けて、増員。(教育)
- (-) 金融系システムにおける不採算案件の影響 (1~3Q)。(BS)

※事業部名略称

ソフトウェア品質保証 : SE

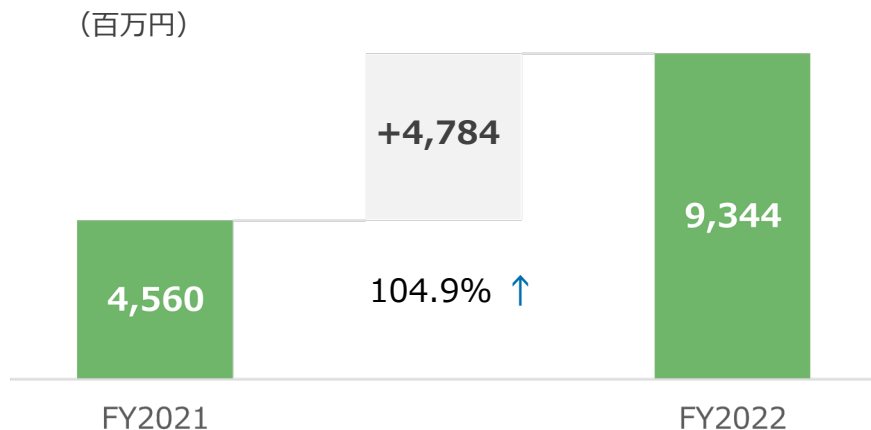
ビジネスソリューション : BS

※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含まず。

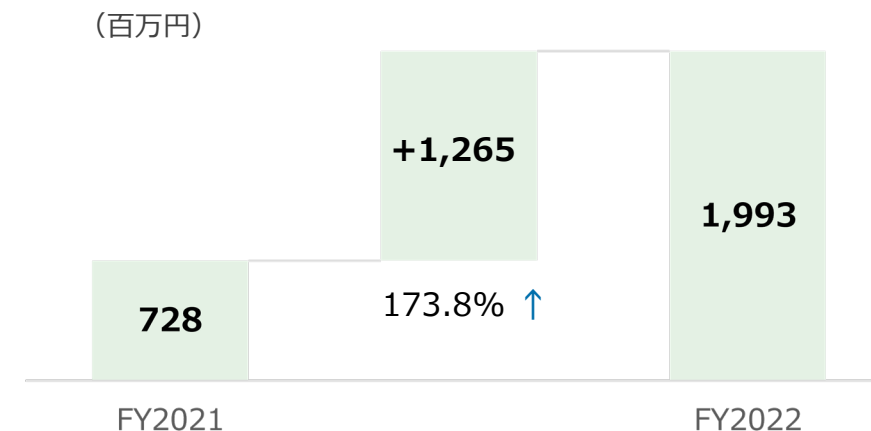
※FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。



売上収益



営業利益



売上収益・営業利益は前年比で増加。

売上収益

- (+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調。
- (+) 事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。クラウドシフトはこれから。
- (+) 期末におけるオンプレ製品の大幅な積み上がり

営業利益

- (+) ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の計上
- (+) 賞与引当不足を前期中に費用計上
- (-) 地方拠点の統廃合による減損損失が発生 (▲16百万円)。

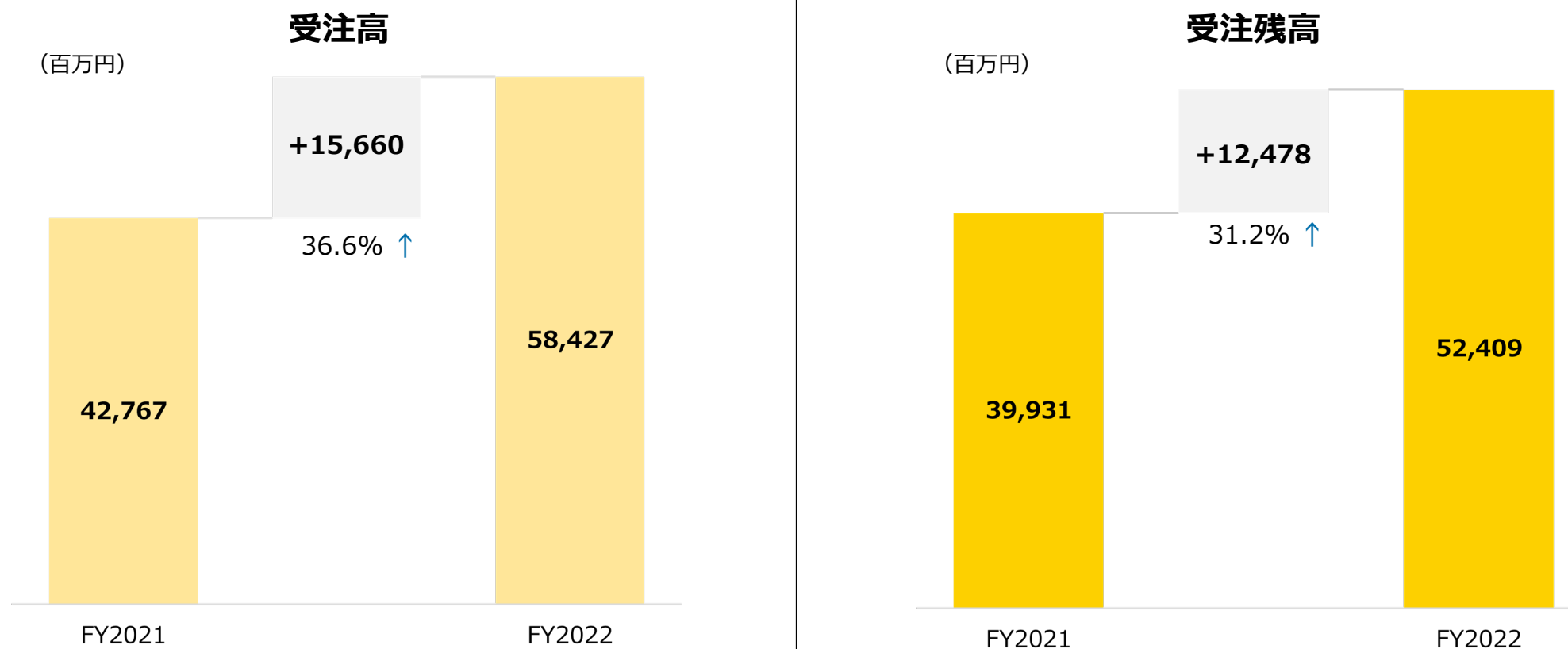
* 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

※医療システム事業のFY2021は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値に、2~3月の旧PSPの実績を加算。FY2022は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



- 連結受注高・連結受注残高は、前年比で情報基盤事業を中心に増加。

全社合計

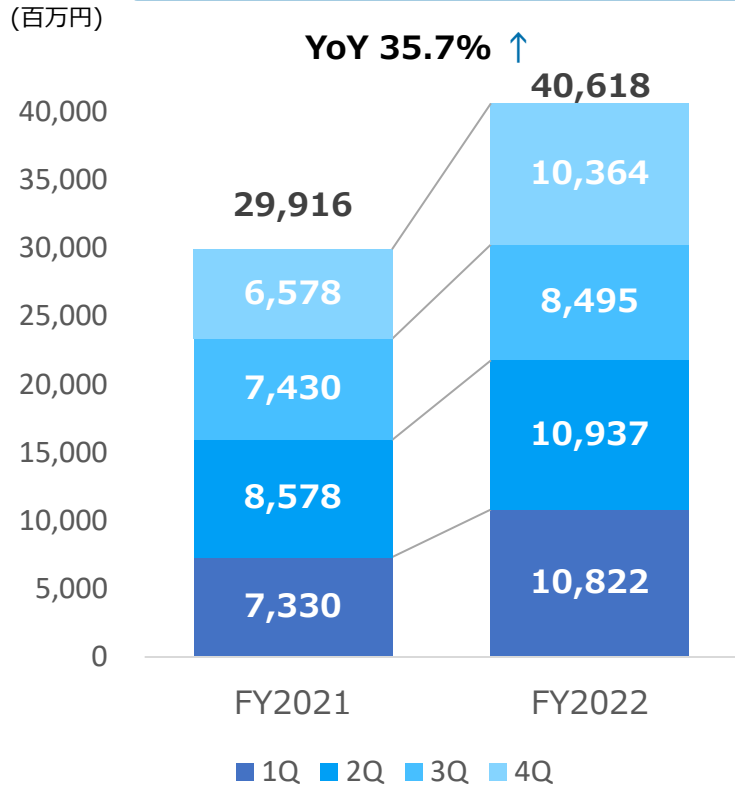




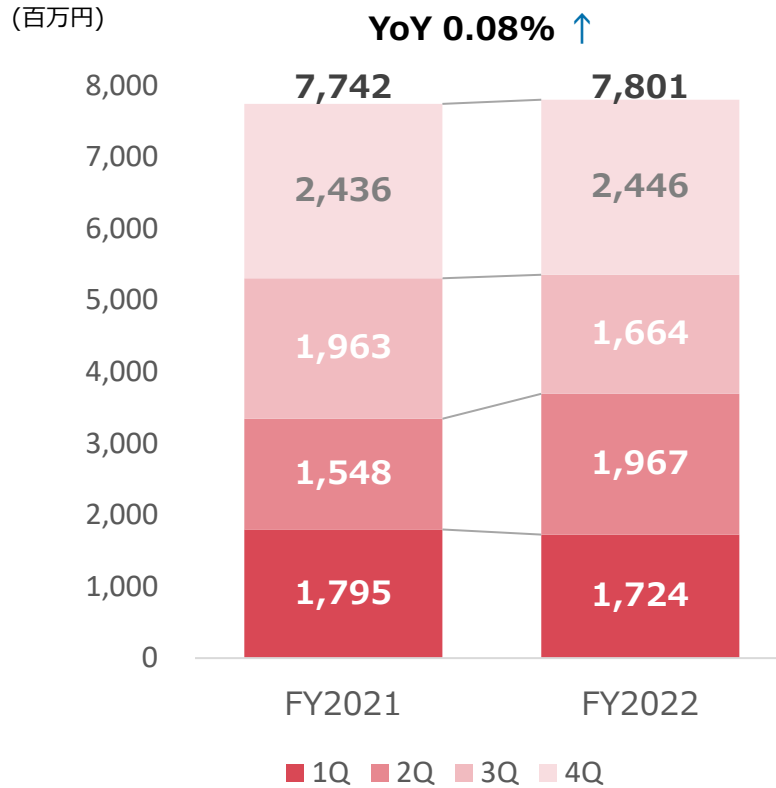
2023年3月期 セグメント別 受注高 (連結)

- 情報基盤事業：サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の引合いが引き続き好調。
- アプリケーション・サービス事業：CRM, SE分野を中心に好調。
- 医療システム事業：医用画像管理システム（PACS）の受注が順調。

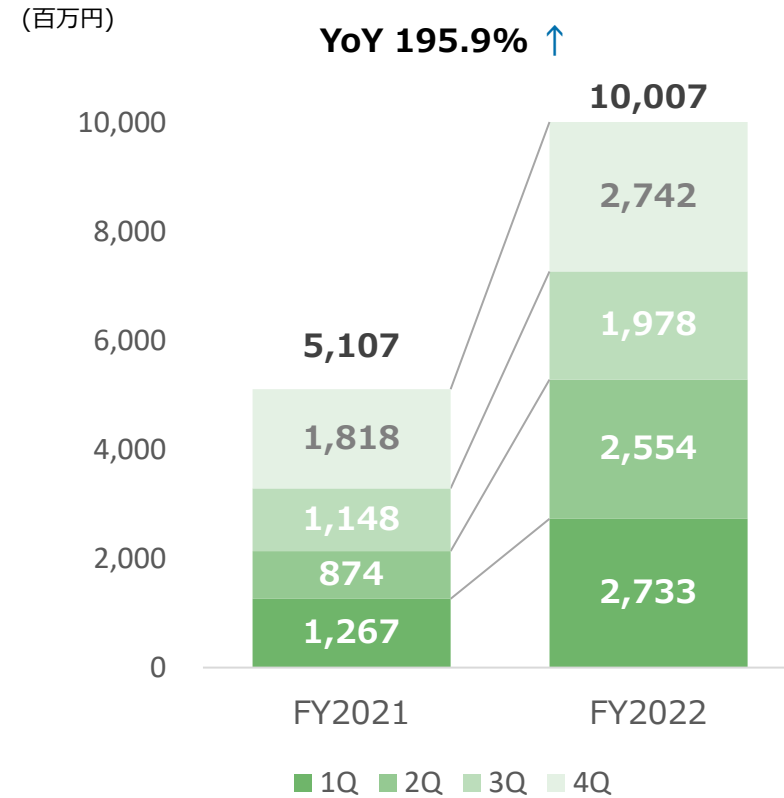
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



医療システム事業



※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含まず。
 ※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。
 ※医療システム事業のFY2021は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値に、2~3月の旧PSPの実績を加算。FY2022は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。

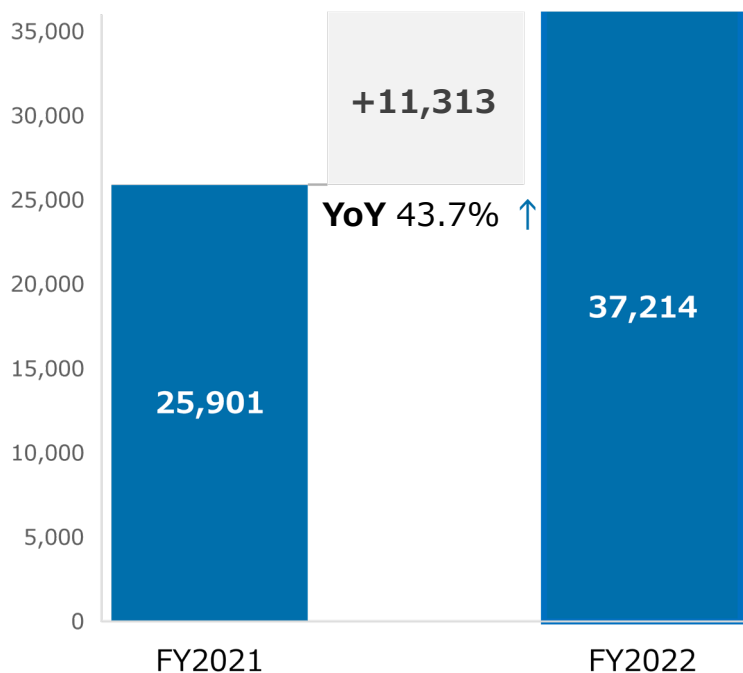


2023年3月期 累計 セグメント別 受注残高 (連結)

- サブスクリプション化 (ストックビジネス強化) により、増加傾向。

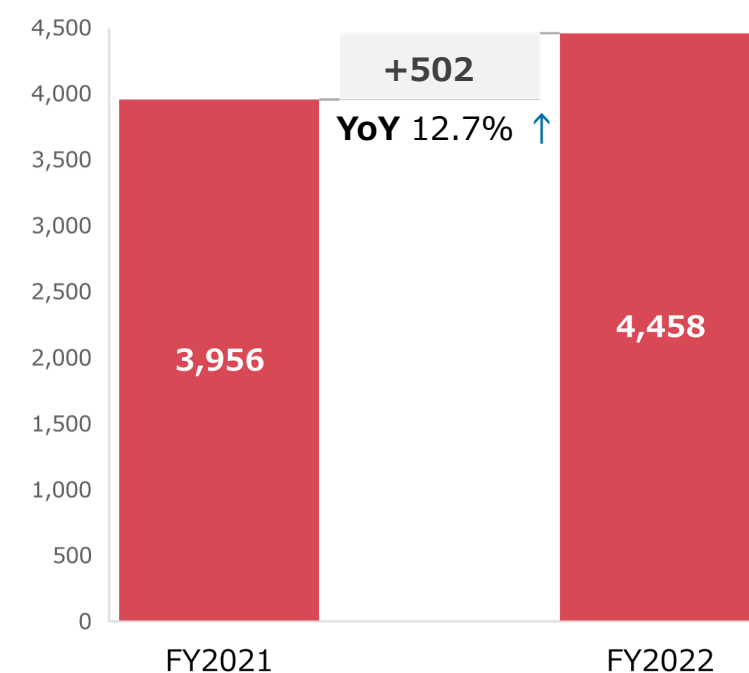
情報基盤事業

(百万円)



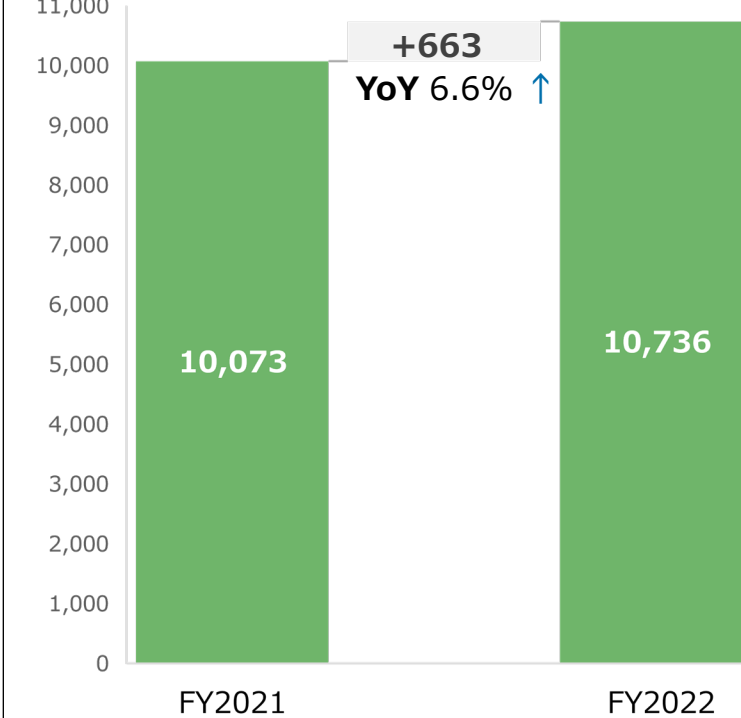
アプリケーション・サービス事業

(百万円)



医療システム事業

(百万円)



※アプリケーション・サービス事業のFY2021は医療分野の数値を含まず。

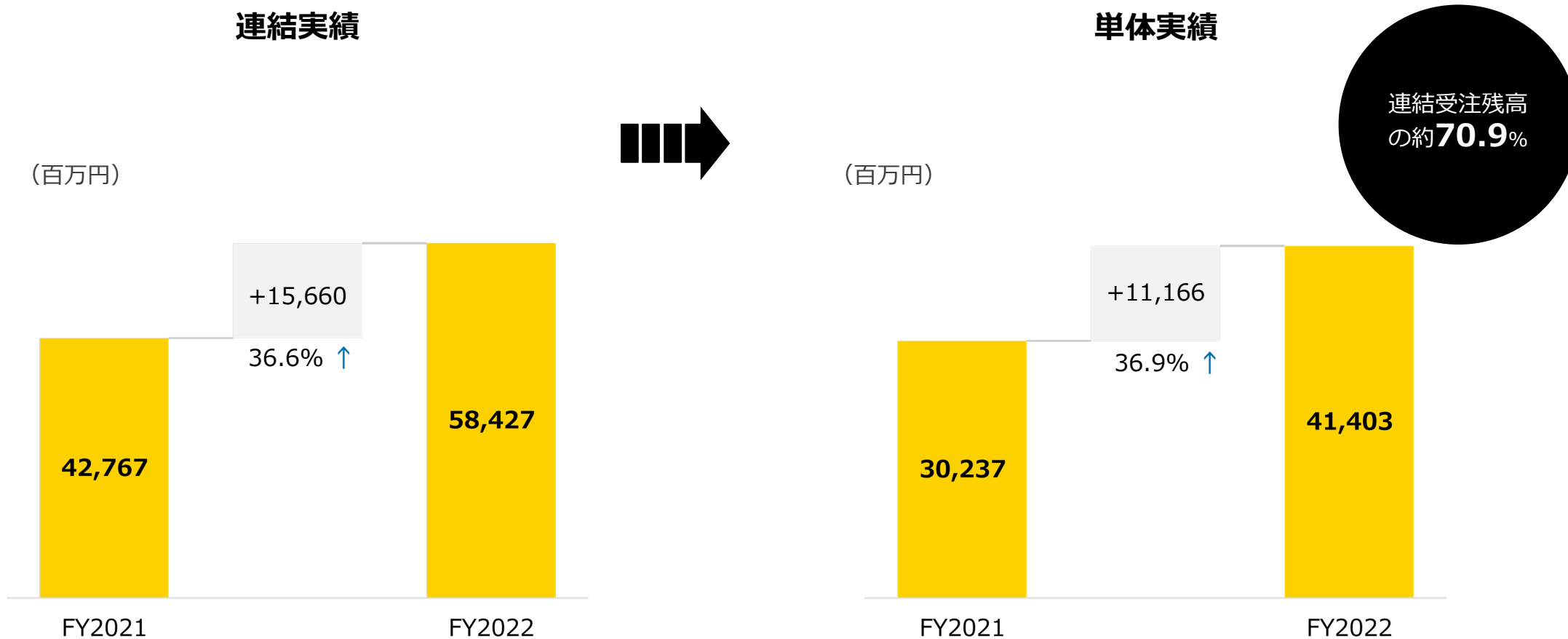
※医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

※医療システム事業のFY2021は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値に、2~3月の旧PSPの実績を加算。FY2022は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



2023年3月期 累計 受注残高の状況（単体）

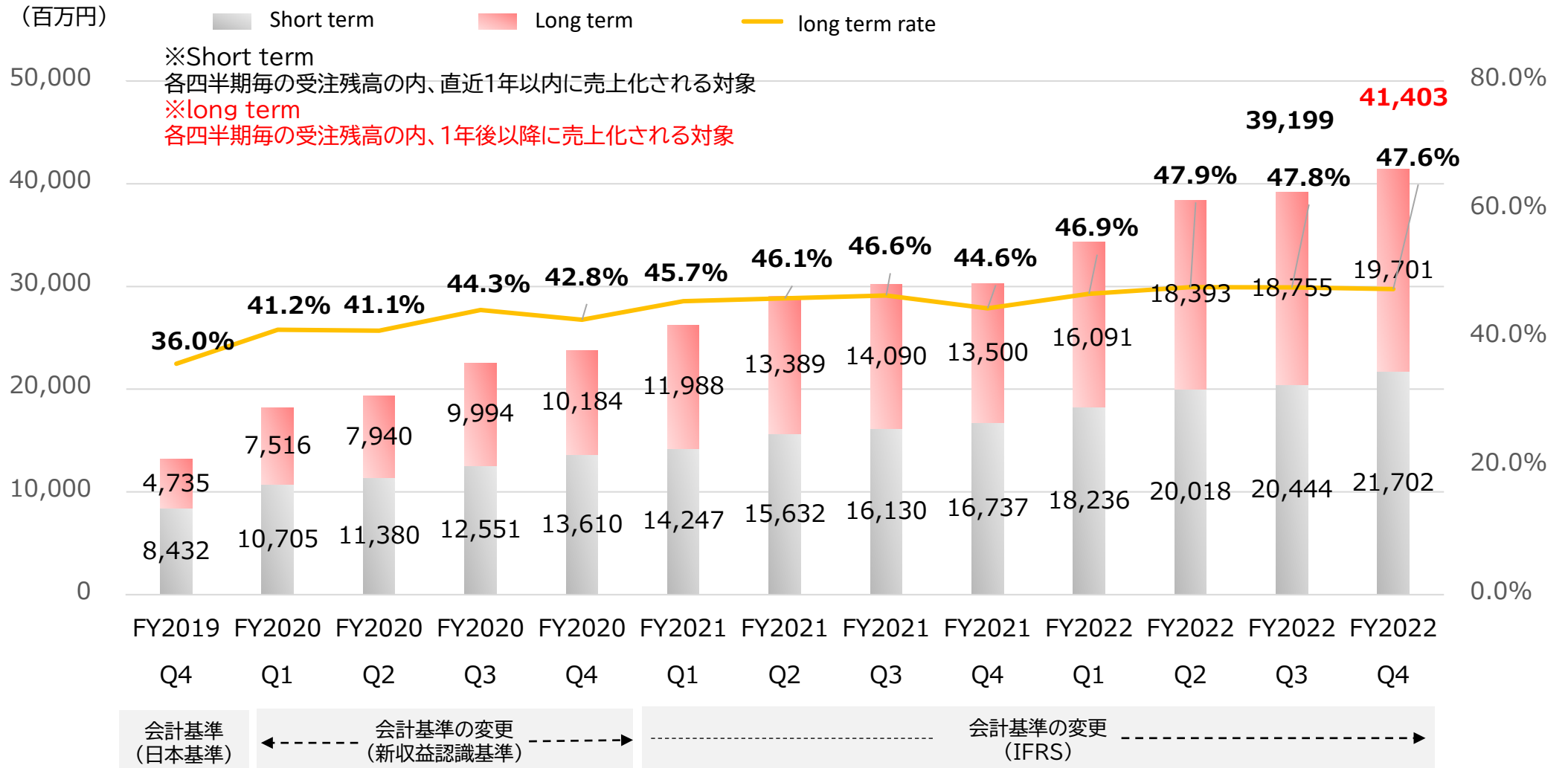
- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。





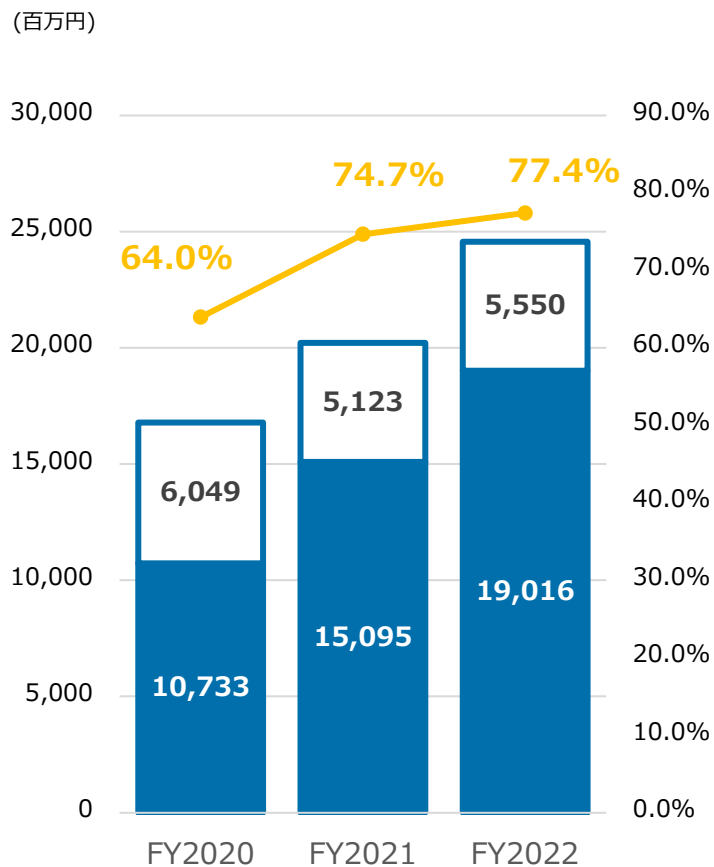
2023年3月期 累計 受注残高（単体全体）

- テクマトリックス単体での受注残高の内訳は以下のとおりです。



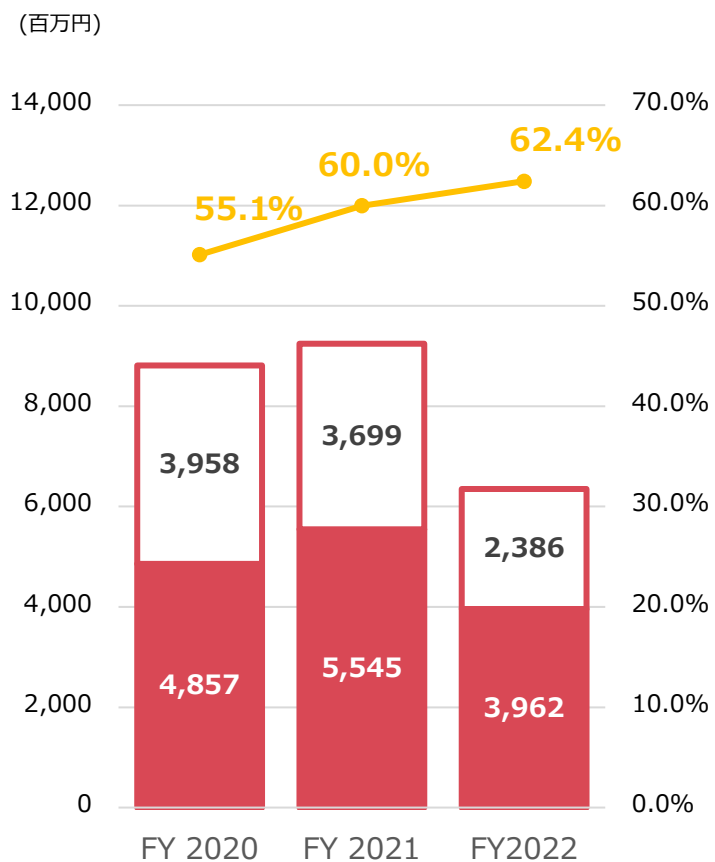


情報基盤事業



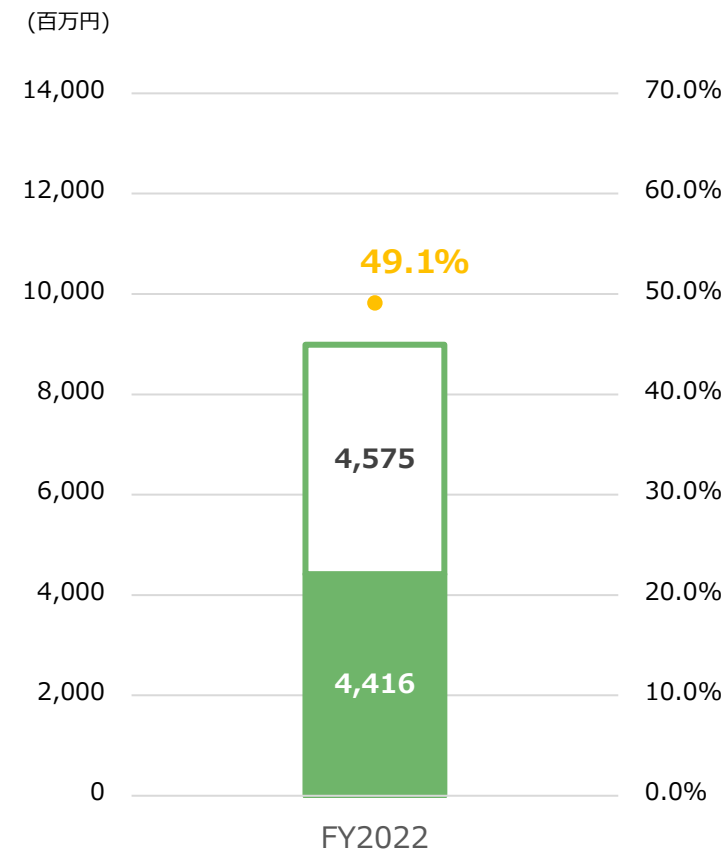
■ ストック
 □ 非ストック
 ●— ストック割合

アプリケーション・サービス事業



■ ストック
 □ 非ストック
 ●— ストック割合

医療システム事業



■ ストック
 □ 非ストック
 ●— ストック割合



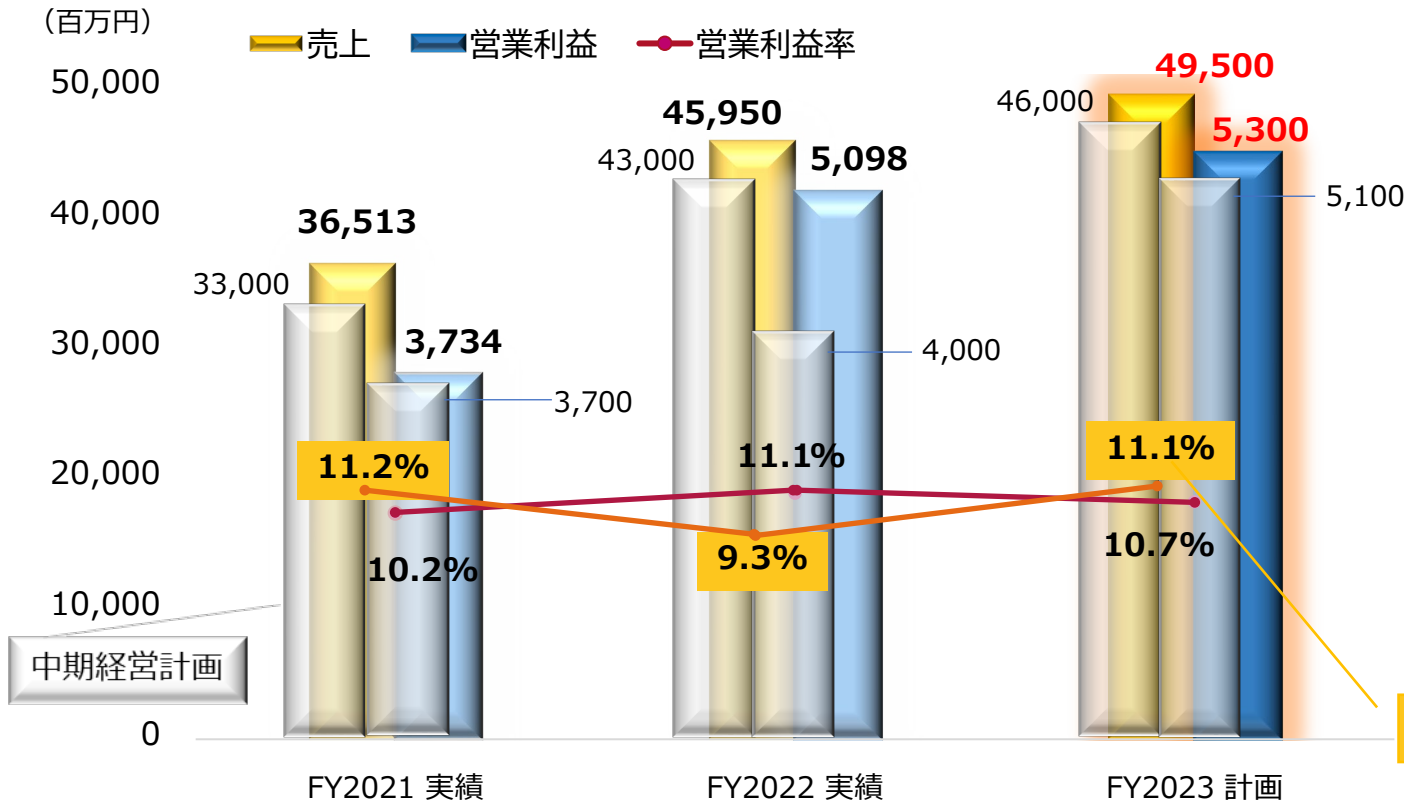
2. 2024年3月期 連結業績予想



前期までの受注残高の積み上がりにより、連結業績は増収増益の見通し。
 対中期経営計画の3年目の計画値も上回る見通し。

【40期における主な特殊要因】

- ①PSP株式会社の退職給付制度改定及びリフレッシュ休暇制度の適用等（人事制度の統一）
- ②新規事業への継続的な投資（EdTech事業・ネットワークセキュリティ事業「NEO」）



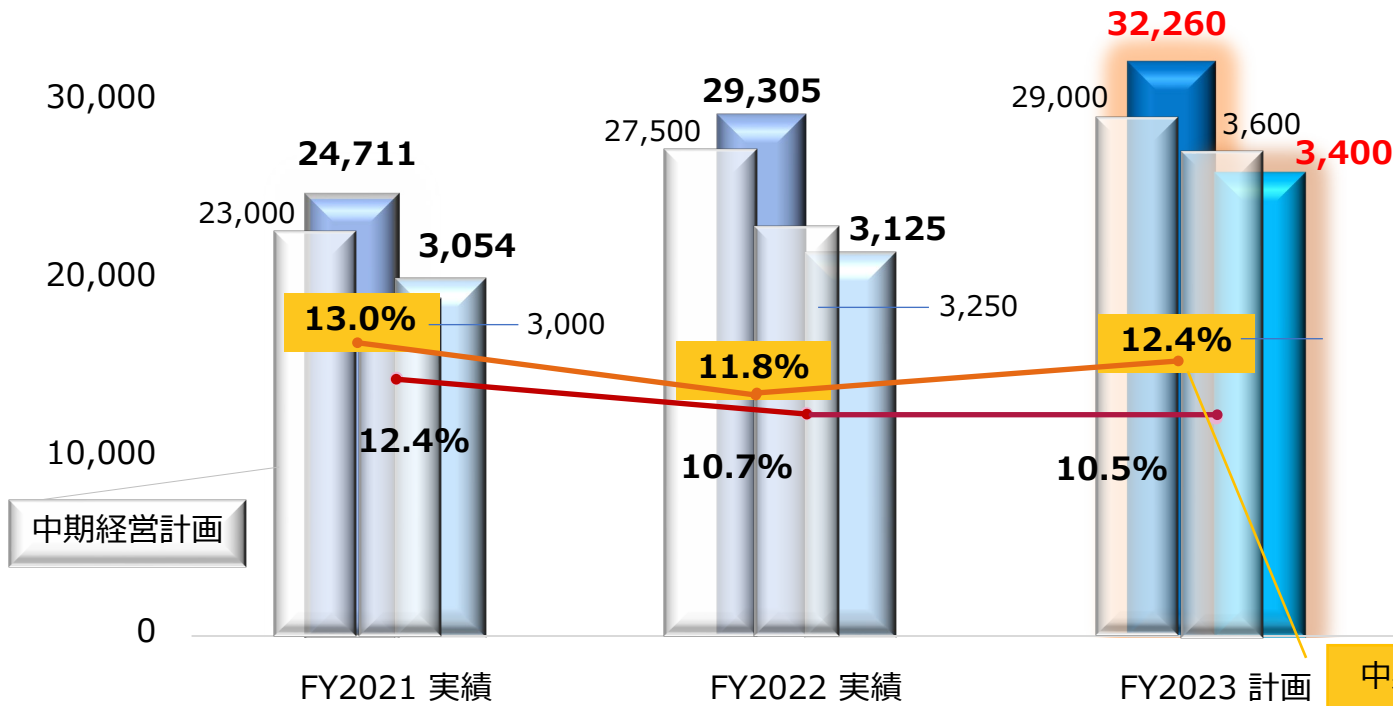
単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+3,550	107.7%
	中計比	+3,500	107.6%
営業利益	前期比	+202	103.9%
	中計比	+200	103.9%

中期経営計画



- ◆売上収益(+): サイバーセキュリティ対策製品・サービスに対する需要は継続
- ◆営業利益(+): 前期に発生した移転関連の特殊費用の消滅
(-): ①為替の影響・仕入原価の増加傾向が残存
②新規事業への継続投資「NEO」
③社内経費の配賦ルールの変更

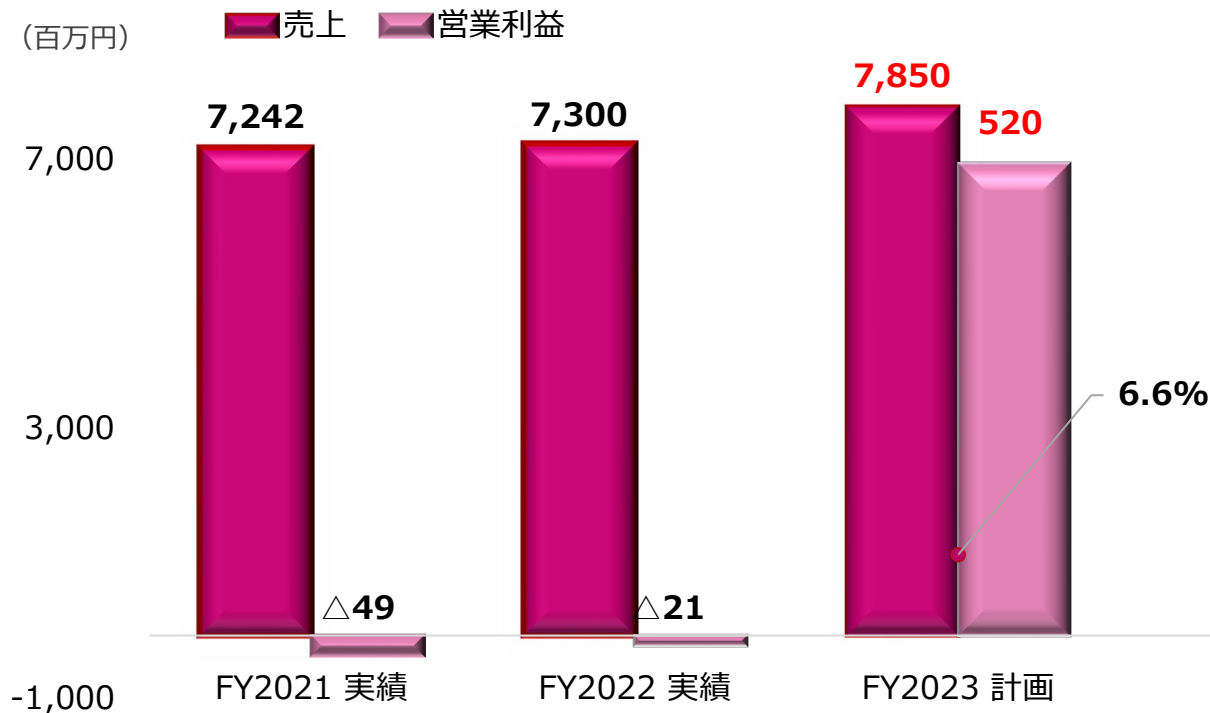
(百万円) ■売上 ■営業利益 ●営業利益率



単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+2,955	110.1%
	中計比	+3,260	111.2%
営業利益	前期比	+275	108.8%
	中計比	△200	94.4%



- ◆ 売上収益(+): サブスクリプション実績の積みあがり (CRM、ソフトウェア品質保証、EdTech分野)
- ◆ 営業利益(+):
 - ① 前期に発生した移転関連の特殊費用の消滅
 - ② EdTech事業の赤字の縮小 (前期に一部前倒しで投資を実施)
 - ③ ビジネスソリューション分野における赤字案件の収束
 - ④ 社内経費の配賦ルールの変更

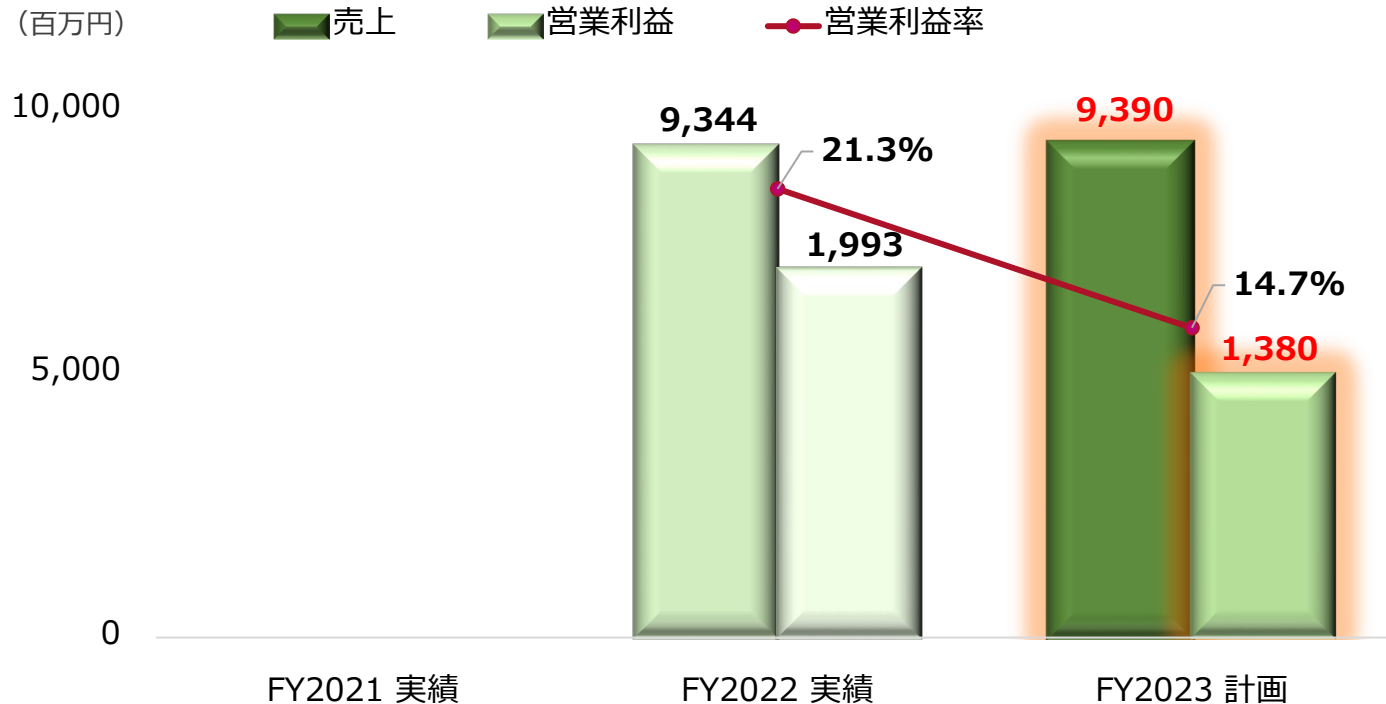


単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+550	107.5%
	中計比	-	-
営業利益	前期比	+541	-
	中計比	-	-

* 医療システム事業部門を除く。



- ◆売上収益 (+) : ① PACS事業の継続的な事業成長
② キヤノンメディカルシステムズへのOEM供給の本格化
- ◆営業利益 (-) : ① 計画的なクラウドシフトへの移行
② ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の償却 (前期は資産化[繰延]メリットが発生)
③ 人件費等の増加 (処遇制度の統一による影響、増員計画による影響)

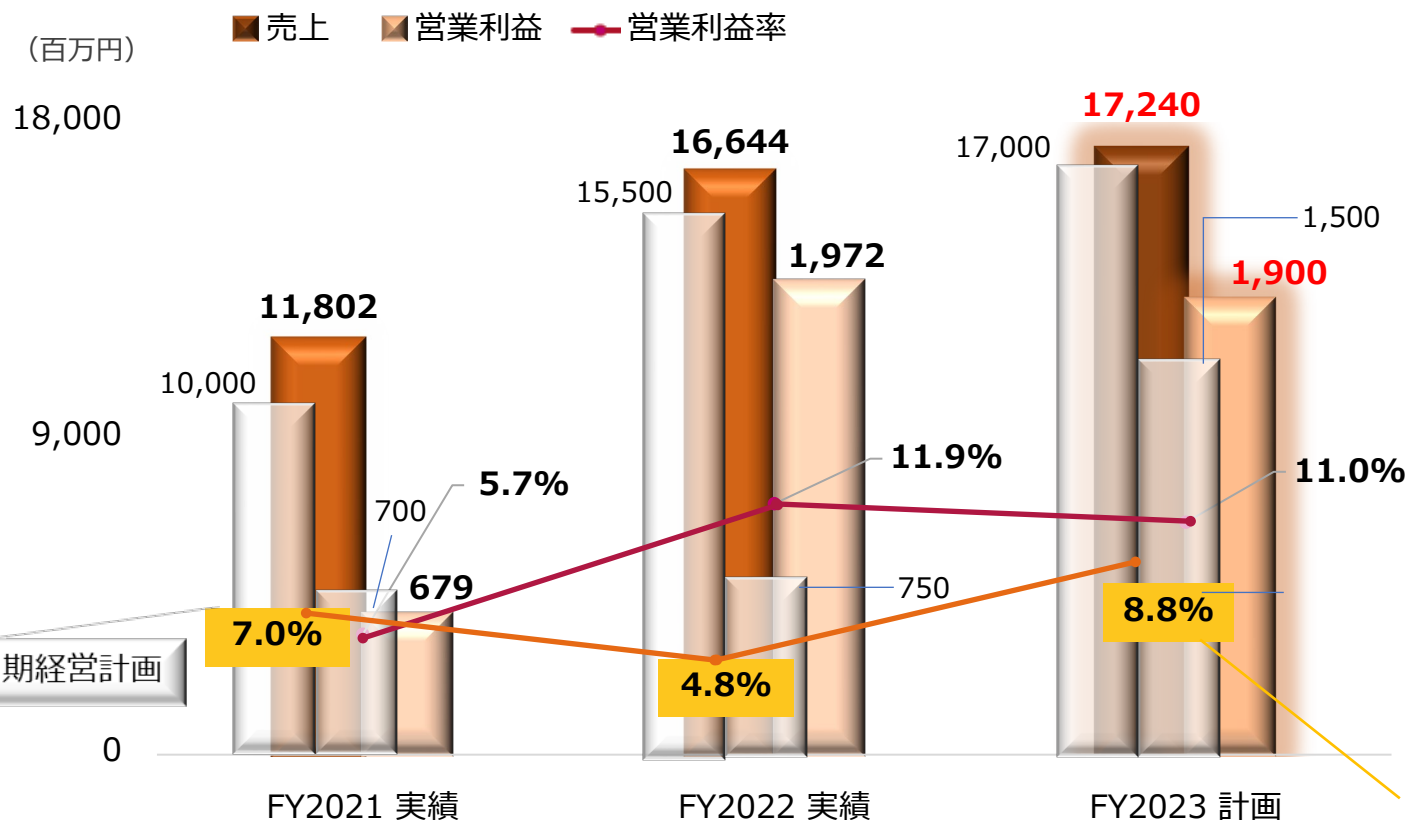


単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+46	100.5%
	中計比	-	-
営業利益	前期比	△613	69.2%
	中計比	-	-

* 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。 19



【ご参考】連結業績予想 (アプリケーション・サービス事業 + 医療システム事業)



単位：百万円		前期差	前期比
売上収益	前期比	+596	103.6%
	中計比	+240	101.4%
営業利益	前期比	△72	96.4%
	中計比	+400	126.7%

中期経営計画



<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp